

KORYO

a special number.

あなたの
夢は
何色ですか。



■表紙の説明

子ども職業体験

平成30年11月10日・11日に開催された「広陵フェス」で「一日町長コンテスト」に応募していただいた子ども達を対象に、広陵町内の各企業に集まり、一日職場体験を実施しました。12月25日は、健康農業で農家、昌和莫大小株式会社で靴下屋、Cobittoで洋服屋を体験。26日は、かくやカフェで店長を27日は、広陵町役場で町長、南都銀行着尾支店で支店長、カフェそらみるでパティシエを体験しました。





私たちの未来は何色だろう。



— 人の数だけ、夢が生まれる。

人口、約35,000人。

この数字は、奈良県内の町村では、一番高い数字です。

当たり前ですが、「未来」の数は、「人の数」に比例します。また、人が多いと「未来」へのアプローチ方法も多岐に渡ります。

つまり、広陵町は県内町村で、一番「未来」の色がたくさんある町なのです。

大阪まで、約30分。でも自然も多い。

ほどよく都会。ほどよく田舎。

そんな広陵町で今日も色取り取りの夢が生まれます。

子ども職業体験 実施

12月25日〜27日、子ども達は、冬休みの真っ最中。



What color ?

そんな中、「子ども職場体験」が行われました。

11月10日・11日に開催された「広陵フェス」で「一日町長コンテスト」に応募していた21人の子ども達を対象に当日、各広陵町内の企業に集まり、一日職場体験をしました。

早朝、白い息を吐きながら集合場所に現れた子ども達。

少し様子をうかがうと、緊張が、こちらまで伝わってくるのが分かりました。

また、受け入れ先の企業や保護者の方、主催者も緊張している様子でした。

それもそのはず。中学生の職場体験は、毎年実施していますが、小学生の職場体験は、初めての試みだったからです。

今月号は、通常の広報紙とは別に特別号を発刊。

子ども達の成長の姿や勇姿、笑顔など多くの姿をカメラに収めた、いつもとは少し違う「広報こうりょう」。

どうぞ、お楽しみください。

始まりは、 お節介おばちゃん。



■ 谷矢 友香子 さん

広陵町立図書館の一画で店を構える移住・定住サロン「かぐやカフェ」のオーナー。

子ども職業体験の きっかけ

「子ども達が、広陵町で働きたいと思ってもらえるイベントを開催しよう。」

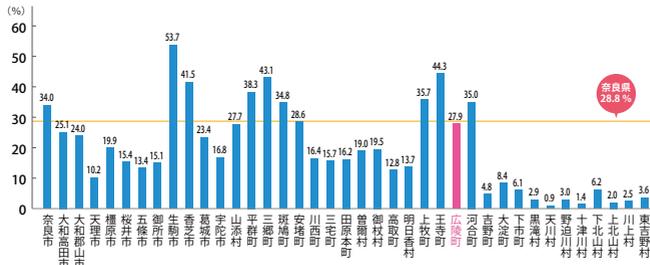
移住・定住サロン「かぐやカフェ」オーナーの谷矢氏がそう思い立ったのは、広陵町の町内就職率が背景にあった。

奈良県の県外就職率は28.8%で全国平均9.0%をはるかに上回り、全国2位。広陵町の県外就職率は27.9%と県内平均を下回っているが、安心できる数値ではない(総務省統計局「平成27年国勢調査」参照)。

つまり、広陵町に住んでいる方の多くは、町外・県外へ働きに行き、そこで消費活動を行っているという現状なのだ。

そこで自身も広陵町内で働く谷矢氏は、

「なぜ町内には、こんなにも良い企業があるのに、町内で働く人が少ないのだろうか。」



▲奈良県内市町村県外就職率（平成27年） 資料：総務省統計局「平成27年国勢調査」

と疑問に思ったとのこと。
今思うと、この疑問が「広陵フェス」開催のきっかけだったと後に語る。

知らないから 感じない

そもそも、町内で働く人が少ないのは、町内の企業に魅力がないからなのだろうか。

しかし、広陵町の靴下は品質、生産量と日本一であり、農作物では、なす（夏秋なす・冬春なす）が国の指定産地になっている。また、プラスチック産業も盛んだ。

その他にも、町を活気づける企業はたくさんある。

谷矢氏は、日頃から多くの町内企業とやり取りをするうえで、町内には、魅力あふれる企業が多数あることを実感したとのこと。

では、どうして実感できたのか。

それは、「魅力を知った」からである。

今の若者達が転職を考えている人たちが町内の企業を選ばないのは、魅力を「感じない」からではなく、魅力を知らないからである。

そこで、子ども達に、町内企業の魅力を「知ってもらおう」

ことから始めようと思い、平成30年11月10日・11日に「広陵フェス」を開催した。

知るだけで 終わらせない

「広陵フェス」一日目、以前より告知していた「子ども職業体験」の希望者を募った。会場では、各企業（靴下企業、農家、ケーキ屋、役場）の代表の方と子ども達の面談もじっくり行った。

イベント当日に「知る」企業は、ほんの一部に過ぎない。もっと「知る」には、実際に「体験」するのが一番である。

「知る」だけで終わらせない。本当の「広陵フェス」は、ここから始まるのだ。



①広陵フェスの最後に撮影した記念写真。多くの参加者が集まりました。②広陵町で穫れたお米の味にほっぺが落ちそうです。③普段着ることができない企業の制服を着用。④広陵フェスの最後のパフォーマンスは会場の皆さんとのダンス

2018.12.27

町長

×

体験

役場って何をするとところか分からない。あまり馴染がないそんな場所。でも、一日町長になったら何か見えるかな。見えるといいな。



宿久 若菜さん

【参加理由】いつもみんなのために働いてくれている優しい町長の仕事を体験してみたかったからです。

本田 那遙さん

【参加理由】広陵町のイベントを知って、将来のために勉強をしたいからです。



岡田 一花さん

【参加理由】町の人が明るく平和に暮らしていく町を作りたいからです。

秋本 天花さん

【参加理由】広陵町長さんは町のためにどんな仕事をしているのか、またその時どんな気持ちなのかなど、経験しないと学べないことがあると思うからです。



WorkPlace



みなさんと共に「いい町」づくり

広陵町役場



奈良盆地の中西部にあり、近畿圏の中核都市である大阪市へ直線距離約30kmに位置している広陵町。現在の新庁舎（上記写真）は1970年9月に竣工しました。現在の町長、山村町長のスローガンである『みなさんと共に「いい町」づくり』を掲げ、協働のまちづくりを推進している。

職業体験の一日

小さな一日町長誕生

「これより、あなたを一日町長に任命する。」

広陵町役場2階に佇む町長室。

そこで、今日4人の小さな町長が誕生した。

山村町長から名前を呼ばれ、一人一人辞令書を受け取る子ども達。

受け取る手は、微かに震えていて、こちらにまで緊張が伝わってくる。

「今日一日、町をより良くするために尽力ください。」

① 小さな一日町長誕生



② 辞令交付式



③ 議場で所信表明



④ 決裁体験



⑤ 来客対応



⑥ 退任式



山村町長からの激励を最後に、一日町長ご一行は、役場3階へ移動した。就任後初めての仕事からこれ待ち構えている。階段を登る足どりは少しきこちな感じられた。

お仕事 仕事を託す

辞令交付式

役場3階、大会議室。

役場内では随一の広さを誇る一室に、三役と部課長級が集結した。

圧巻する光景の中、一日町長の本日最初の公務が行われようとしていた。

辞令交付式である。職員の所属部署を告げ、自分の想いを託す辞令交付。

当日は、4人の広陵町職員が一日町長から辞令書を手渡された。

辞令書を読み、手渡す瞬間、何か熱い想いを託されたように感じた。

それほどまでに、しっかりとした姿で、最初の公務は、行われた。

これからの一日町長体験の公務が楽しみに感じられた。



①職員一人一人に辞令を交付しました。

②一日町長に任命。皆さん少し緊張気味でした。

我々が忘れていたものが

そこには、あった。

議会で所信表明

我々職員に辞令交付を行った一日町長達。徐々にエンジンがかかってきた様に見えた。

その後、議場に移動。扉を開けると、普段見られない場所への戸惑いか、少し立ちすくむ小さな町長達に「どうぞ。入ってください。」と後押しする声。

レンズ越しに伝わる緊張にこちらまで息をのむ。

「ここが議場で、普段ここでは、議会が行われます。」

広陵町議会議員の方々が着席し、軽くこの場の説明が行われた。

「それでは、一日町長には、所信表明を行ってもらいます。」

議員、保護者の方々、幹部職員が固唾を呑む中、一日町長の所信表明が始まった。

マイク越しに伝わる緊張の息遣いに、我々も少し不安になった。

「子ども達には、少し難しいことだったのでないか。」と。

「今日は、みんなのためにいつも働いている山村町長の仕事内容を知りたいです。また、広陵町には良い所がたくさんあります。美味しい野菜が穫れたり、お花や遊具がたくさんある公園があります。また靴下が有名であることも授業で学びました。私が町長になったら、広陵町の良い所をみんなに伝えていきたいです。」

——完ぺきだった。——

その後も4人の一日町長達が、代わる代わるマイクの前で自分のやりたいことを述べていく。



▲議場で行った所信表明の様子。堂々たる姿に大人たちは、驚いた。

その度、議員からは質問が投げかけられる。子ども向けの質問から我々でも返答に困る難しい質問まで内容は多岐に渡った。それでも、一日町長たちは、しっかりと自分がやりたいことを返答していた。とても笑顔で。会場は、とても暖かい空間



⑤



④



⑥



▲①決裁体験。するどい指先に職員も冷や汗をかきました。②名刺交換。名刺を普段持たない子ども達にとって名刺交換は貴重な経験。③議場で議員の皆さんと集合写真。④かぐやちゃん像の設置場所を検討。熱い意見が飛び交いました。⑤かぐやちゃんと共にどこに像を置かか検討。⑥町長に役場内を案内。役場の中を少し知れました。

へと変わり、議論がしやすい場となった。
我々が忘れていた「笑顔で自分がやりたいことを述べる。」という基本的なことを思い出させてもらった。

決裁体験

見事な所信表明を終えた一行。その後、町長室に戻り、決裁体験を行った。
各自、一日町長体験のために用意した決裁印を手にし、真剣な眼差しで目を通す一日町長たち。
「生半可な起案文では決裁印は押さないぞ。」という気迫が伝わってきた。
そのプレッシャーは、まさに町長そのものであった。

新たなかぐやちゃん像を

平成30年8月12日、箸尾駅に一体のかぐやちゃん像が設置された。
そして、もう一体のかぐやちゃん像を設置する計画が先の決裁体験で起案された。

一日町長として新たにどこに設置すれば住民や来庁される方が喜んでくれるのかを4人で熱く議論し、実際に設置候補場所へと赴いた。



▲箸尾駅前に設置されたかぐやちゃん像

退任は就任

おわり はじまり
一日町長体験も終盤。残すは、退任式のみだ。
たった一日の小さな町長に当初の緊張は感じられない。
職員が拍手でお見送りをする中、そこにいたのは、自分のやりたいことを堂々と述べ、どうすれば住民の方が喜んでもらえる立派な一日町長だった。
もしかしたら数十年後の町長は、彼女達かもしれない。

受け入れ側に聞く。職業体験を終えてみて

広陵町長
山村 吉由



広陵町のことを良い町にしたいという強い思いを持って一日町長に挑戦してくれました。本当に嬉しく、頼もしく感じました。ありがとうございます。これからも、広陵町のことをよろしく願います。

広陵町議会議長
堀川 季延



一日町長として、いろいろな体験おつかれ様でした。よい思い出となることでしょう。また、議場では、町・地域に向け熱い思いも語っていただきました。参考にしながら、わたしたちもより良いまちづくりに努めます。これからも頑張ってください。

2018.12.25

農業

×

体験

普段食べている野菜はどうやって作っているのだろう。
健康で楽しくがモットーの「健康農業」で年少少女の
一日農家体験が始まる。



竹之下 泉さん

【参加理由】自然の中で、
働きたかったからです。

平岡 大典さん

【参加理由】野菜が好きだ
から、みんなにもっと野菜
がおいしいと分かってほし
いからです。



WorkPlace



健康で楽しくがモットー

健康農業 (けんぎょうのうぎょう)



平成 26 年度に奈良県の「県内大学生が創る奈良の未来事業」に奈良女子大学の学生が提案した事業。広陵町をモデル地域に、町内の非農家住民による遊休農地活用の取り組みとしてスタート。現在は 15 名で、広瀬と中にある合計約 4,500㎡の畑で活動中。

職業体験の一日 /

① 小さな一日農家誕生



② 農業の説明



③ 苗の植え付け・播種



④ 水やり



⑤ 作物の越冬の準備



⑥ 収穫（白菜、長ネギ）



生物の授業ではなく農業を学ぶ

12月25日、「子ども職業体験」初日に1日農園社長体験が行われた。

寒空の下、農園のプレハブに3人（内1人は、応募者の妹）が集まった。

健康農業代表の大谷氏から一日農園社長を任命する辞令書を手渡された子ども達に少しの緊張と期待が込められた様子が見受けられた。

辞令交付の後は、今日一日の流れや、農業についての簡単な説明があり、実際の作業に就く。流れは、種や苗を植

える作業から育てて出荷まで（出荷は後日）で、そこには健康農業で活動する方々の「子ども達には、よりリアルに近い『農業』というものを体験してほしい。」という思いからだった。

農業体験実施

子ども達がまず体験したのは、エンドウ豆や空豆、水菜の定植とホウレンソウの播種である。

その後、切りわらや不織布を被せ、年末年始の寒さを防ぐ準備をした。

ほ場は先日までの雨でぬかるんでいたが、子ども達の顔

には、初めての体験に心を躍らせているように感じられた。

最後に、旬の白菜や長ネギを泥だらけになりながら、収穫した。

予想以上の野菜の重さに身体をよろめかせながら運んでいた子どももいた。

今回の体験で作付けたエンドウ豆やホウレンソウは、収穫まで何度かほ場に來てもらい細かな管理など、作付けから販売までを体験してもらう予定である。

今後の子ども達の成長と体験中に植えた作物の成長が楽しみである。

企業側に聞く。職業体験を終えてみて /

健康農業

近江 郁子さん

学校でも農作物を育てることもあります。あくまでも生物の授業として習うことが多いと思います。今回、子ども達には、職業としての「農家」を体験してもらいました。もちろん職業としての、後日出荷を体験してもらおうと思っています。また、当初は少し緊張していた子ども達ですが、農家メンバーと打ち解けて楽しく作業していただきました。



2018.12.25

靴下

×

体験

我々の生活には欠かせない靴下。でもどうやって作っているのだろう。一日靴下屋さんの社長になって靴下のことをたくさん知ろう。



濱野 緑葉 さん

【参加理由】靴下会社の社長になりたかったからです。

大元 雛多 さん

【参加理由】足が速くなる靴下を作ってみたいからです。



梅田 つばさ さん

【参加理由】靴下をどうやって作っているか見たいからです。



Work Place



広陵町が誇る靴下産業

昌和莫大小株式会社



モノづくりにこだわり、快適で個性豊かなレッグウェアを創造し、世界が認めるレッグニットファクトリーを目指す「昌和莫大小株式会社」。都市生活の中で楽しみたいスポーツやライフスタイルシーンに活動することが楽しくなるような「ファッションナブルなデザイン」とパフォーマンスを引き出す「活動を補助する機能」を兼ね揃えた靴下は、一級品です。

職業体験の一日

① 小さな靴下屋社長誕生



② 靴下の性能の説明



③ 具体的な構造を学ぶ



④ 事前に考えたデザインを見せ合う



⑤ 靴下工場見学



⑥ 靴下完成までの見学



少しでも記憶に残る一日に

靴下の生産量日本一を誇る広陵町。しかし、その担い手は年々減少してきている。

そんな中、靴下屋の社長に将来なりたいと3人の小学生が手を上げた。

昌和莫大小株式会社の社長、井上氏から辞令書を手渡され、いよいよ子ども達の体験が始まる。

井上社長からの靴下のできる工程や性能についての説明を受け、事前に子ども達に用意してもらった「こんな靴下を作りたい。」というデザ

ンの紙をお互いに見せ合った。

当日は、時間が限られているので、代表を決め、カピバラのデザインの靴下を作成することになった。

その後、デザイン画をスキャンし、データをパソコンにインポート。

ものすごく細かく描かれたドットのデザインに一同は驚いた。

その後、少しずつ微調整をしていき、何万とある色の種類から3人で色を決めていく。

自分たちだけの靴下の製作は、彼女達にとってはとても貴重で、記憶に残る一日にし

てもらいたいという井上社長の想いだ。

靴下工場の見学

たかさんの機械が大きな音を上げる中、靴下が作られていく様子を興味津々に見学する子ども達。

靴下の出来る過程が非常に複雑であることや、最初に機械から出てくる靴下は、筒抜け棒状の布生地であることに驚いていた。

完成した靴下に笑顔をうかべる子ども達を見て、将来の広陵町の靴下産業の大きな力となってくれると確信した。

企業側に聞く。職業体験を終えてみて

昌和莫大小株式会社
社長 井上 克明 さん

今回、子ども達が予想以上に靴下に興味を持ってもらい大変うれしかったです。そして、こんなに若い子たちが靴下のことを考えてくれていることに、広陵町の靴下産業は、希望を持つことができました。少しでも今回の体験で靴下に思い入れを持ってもらえればうれしいと思います。また、機会がありましたら、ぜひ受け入れたいと思います。



2018.12.25

洋服

×

体験

可愛い洋服を作りたい！女の子なら誰しも一度は夢見る職業。小さな小さな洋服屋さんには、一体何を仕立ててくれるのでしょうか。



花牟礼 紗和 さん

【参加理由】洋服作りに興味があったからです。

WorkPlace



成りたい自分へ

Cobitto



大元 芽咲 さん

【参加理由】流行の服を作りたいからです。



自分に合った服がなかなか見つからない。そんなお悩みをお持ちの方は、たくさんいらっしゃいます。「全ての洋服がサイズを気にせず選べたらどれだけ楽しいだろう♪」を形にしたお店です。

職業体験の一日 /

① 小さな服屋さん誕生



② 生地を裁断



③ ミシンで縫う



④ アイロンかけ



⑤ ボタン付け



⑥ 完成



ハイテクな機械に驚く声

「私たちにスカートなんて作れるのだろうか。」
 そう言いたげな表情で辞令書を受け取った小さな仲良しのお洋服屋さん。
 同席した大人たちも本当に数時間でスカートを作れるの
 か心配している様子だった。
 「それでは、スカートの生地を裁断します。」
 代表の土江氏からの一言でさらに不安そうな表情をうかべる少女たち。
 その後、裁断用の部屋に案内されて一同は驚くことと

なった。
 用意されていたのは、裁断用のハイテクな機械。
 事前に用意した型紙を基に自動で裁断を行う。
 ボタンを付けるための穴まで自動で開けることができる優れものだ。
 慣れない手つきで、機械を操作し、裁断完了。
 ここからは、ミシンで縫っていく作業が始まる。

自分たちの手で作り上げる

初めてのミシンに、戸惑いながらも従業員の方からの手

ほどきもあり、順調にスカート
 を縫っていく子ども達。
 その後は、アイロンがけなどの工程を終え、次はボタン付け。完成まであと少し。
 さまざまな種類のボタンから慎重に選び、最後は自分の手で仕上げていく。
 出来上がりと共に、保護者の方々に笑顔で、スカートを履いて見せるその姿に、将来アパレル業界で働く少女たちの姿が思いうかんだ。



①ゲーム機のようなコントローラーで裁断用のマシンを操りました②生地を裁断するマシン

企業側に聞く。職業体験を終えてみて /

Cobitto

代表 土江 進太郎 さん

現在アパレル業界は、人手不足に悩まされています。そんな中、このような職場体験という機会に今後未来を担う子ども達に業界の仕事を少しでもPRできたことがうれしいです。また、従業員もどのように教えると子ども達に喜んでもらえるか考えて教えることにより、こちらもとても良い経験ができました。今後も、機会がありましたら受け入れたいです。



2018.12.26

カフェ

×

体験

平成30年10月1日で1周年を迎えた移住・定住サロン
かぐやカフェ。多くの個性的な方々が集まるこのカフェ
で、子どもオーナーが手掛ける安らぎのメニューとは？



平岡 優さん

【参加理由】注文を聞いた
り運んだりすることが楽し
そうだから希望しました。
また、お客さんに喜んでも
らいたいからです。

宿久 悠真さん

【参加理由】
お母さんが働く職場なの
で、一緒に働いてみたかつ
たから希望しました。



WorkPlace



広陵町移住・定住サロン

かぐやカフェ



図書館を利用される方には「憩いの場」として、来町者には町をもっと好きになってもらうための「情報発信の場」として平成29年10月1日にオープンした移住・定住サロン「かぐやカフェ」。訪れる方に「住んで良かった」「住みたくなった」と思っていただけのような町の魅力をPRしています。

職業体験の一日 /

① カフェののぼり立て



② 接客 (水出し、注文聞き)



③ 簡単な調理 (コーヒーなど)



④ 提供



⑤ お弁当づくり



⑥ デザートの調理



**お客さんの
喜ぶ顔がみたい**

「接客の仕事を経験したい。」「お客さんの喜ぶ顔がみたい。」

そう話すのは、将来はかぐやカフェの店長になりたいという笑顔が素敵な宿久悠真さんと明るく元気いっぱいなの平岡 優さん。

当初は、緊張した面持ちだったが、持ち前の明るさでどんどん新しいことにチャレンジしていく。

まずは、かぐやカフェののぼりを立てることから始まった。

自然と笑顔に

接客体験では、最初は緊張している様子だったが、お客さんと話すうちに、緊張もほぐれ、笑顔に。

その後、コーヒーマシーンやメニューの簡単な調理をし、実際にお客さんに提供する。

お客さんとすぐに打ち解けて、自然と笑顔があふれた。

自分たちの身長よりも高いのぼりを懸命に設置していく。のぼりを上げることで、自然と気合いが入る。さあここからが本番だ。

職場に。お客さんも、可愛い小さな店員さんに終始にこにこ笑顔があふれた。

お弁当づくりでは、三角おにぎりなどを作った後、簡単なデザート作りも体験。

平岡さんは、とても上手くおにぎりを作り、宿久さんは、普段お手伝いをしてるのが分かる手際の良さで作業を進め、店内はとても居心地の良い空間となった。

「お客さんの喜ぶ顔がみたい。」

その思いは、しっかりとみんなに届いていた。

企業側に聞く。職業体験を終えてみて /

かぐやカフェ
オーナー 谷矢 友香子 さん

今回、子ども達はとても楽しくかぐやカフェで働いてくれたように思います。また、スタッフも人に教えるという貴重な体験ができて、とても良い勉強になりました。

子ども職業体験後には、子ども達からお手紙を送っていただきました。手紙からこの一日が本当に楽しかったことが伝わりました。



職場体験後にお手紙をもらいました♪

2018.12.27

銀行

×

体験

普段お母さんやお父さんが使っているお金よりもっとたくさんのお金を扱っている銀行。私たちの生活になくてはならないお金を扱う銀行支店長の職場体験スタート



石田 樹里 さん

【参加理由】お金のことがもっと知りたいからです。

石田 彩奈 さん

【参加理由】将来、銀行で働きたいからです。



泉田 佑真 さん

【参加理由】お金や貯金のことを知りたいからです。

高原 遥輝 さん

【参加理由】お金を貯めているからです。



WorkPlace



地域を支えて122年

南都銀行箸尾支店



私たちの生活に欠かせない金融機関。広陵町で馴染みのある銀行と言えば南都銀行です。そんな南都銀行箸尾支店は創業122年を迎え、長い歴史の中で、地域の人々とともに広陵町を支えてこられました。

\ 職業体験の一日 /

① 小さな銀行支店長誕生



② 名刺交換



③ 銀行クイズ



④ 接客体験



⑤ 決裁体験



⑥ 記念撮影



銀行ってどんな所

普段使っている以上のお金を扱っている銀行。

しかし、あまり子ども達には、ピンときていない様子だ。

会場に集まった子ども達は、男の子は、ネクタイを締め、女の子は、南都銀行の実際の制服を着ている。

この日のために、南都銀行が用意したものだ。

そして、自分たちが何をやるのか分からない中、池本支店長から辞令交付が行われた。

最初に行ったのは、名刺交換である。

実際に南都銀行で使用する

名刺に子ども達の名前が記載されていて、よりリアルに「仕事」を感じることが出来る。

出来るだけリアルな銀行員の仕事を体験してほしいという、池本支店長の熱い思いからだ。

銀行クイズでは、従業員の方が、実際のお札や硬貨を見せて、銀行についてクイズをしていく。

国内のお金に関するクイズだけでなく、海外のお金のクイズもあり、子ども達も、真剣にクイズに挑んだ。

その後、お客さんが来店した時のあいさつなど接客を体験。

元気にあいさつをする子ども達の姿に店内は温かい空間となった。

銀行を身近に

一億円をあなたは持ったことはあるだろうか。実際に、見せていただくこととなった。(写真はNG)

初めて見る、大金に戸惑う子ども達に保護者の方々も同様の反応を示した。

その後、決裁体験をし、普段馴染まない銀行を少しでも身近に感じてもらえたように思った。

\ 企業側に聞く。職業体験を終えてみて /

南都銀行箸尾支店

支店長 池本 潤哉 さん

子ども達にとって、銀行員という仕事は、あまり馴染がないと思います。そんな中、今回のような体験は、「銀行」を身近に知ってもらえる良い機会でした。また、実際の営業時間内に職場体験することで、生の現場を知ってもらい、子ども達もとても喜んでいるように感じました。将来、今日来た子ども達が南都銀行に就職する時があればうれしいです。



2018.12.27

ケーキ屋

×

体験

幸せの味がする。そんなみんなが大好きなケーキ。少しでもみんなが笑顔になってくれるケーキを作りたい。そんな少女達のパティシエ体験。



新見 柚さん

【参加理由】家でも家族に作りたいからです！

宮迫 柚希さん

【参加理由】将来ケーキ屋さんになったら、いろんなケーキを作って、いろいろな人に食べてもらって、いろいろな人を笑顔にしたいからです。

青野 澄伶さん

【参加理由】希望した仕事が将来の夢につながるかもしれないからです。

大森 聖菜さん

【参加理由】将来パティシエになりたいからです。

WorkPlace



幸せの味をお届け♪

カフェそらみる



完全な手作りのパンケーキを提供するそらみる。提供するドリンクも身体によいものが多く、こだわりのコーヒーや紅茶、ソフトドリンクはオーガニックを主体に。野菜や果物をたくさん使用したスムージーやお酢のドリンクを添えています。お客さんが一口食べて「美味しいね」と微笑みを交わしていただける憩いのカフェです。

\ 職業体験の一日 /

① 小さなパティシエ誕生



② 生地をませる



③ 型に流し込む



④ クリームを塗り、イチゴを入れる



⑤ 丸めてクリームを塗る



⑥ 切って飾り付け

幸せの味を
一から作る

甘くておいしいケーキ。

そんな幸せの味のケーキを作りたいう想いから、4人の少女たちが当日集まった。

今回作るのは、ロールケーキで、普段作ったことのない料理に少し不安げな表情をうかべる。

まずは、特製の生地をボウルの中で混ぜる。

その後、型に流し込み、数十分間、冷やし、生地が出来るのを待つ。

幸せの味まで、後少しで完

成である。

食べてほしい人を
思ってる

出来上がった生地には、生クリームを塗っていく。

生クリームは手作業で一から作ったものである。

その後、生クリームの上に、イチゴを乗せ、生地を丸めて、ロール状にしていく。

型が崩れないように慎重に形を整えていき、再度表面に生クリームを塗っていく。

表面の生クリームの上にさらにイチゴを飾り、ココアパウダーをふりかける。

最後に包丁を斜めに入れ、完成である。

一つ一つの飾り付けなどが違い自分だけのケーキの完成だ。

中には、クッキーを飾り付ける子もいて、懸命に仕上げをしていく光景が見られた。

皆さん、ケーキを食べて欲しい誰かを思い浮かべて作ったようだ。

このケーキを食べることが出来る方は、幸せな笑顔をうかべることは、間違いない。



▲完成したロールケーキ。たくさんの想いが詰まっています。

\ 企業側に聞く。職業体験を終えてみて /

カフェそらみる

パティシエ 中西 克明 さん

デザートは普段食べている料理と比べて少しご褒美な感じがして、プレゼントすると喜ばれることが多いです。僕自身、その喜んだ顔を見るのが好きで、パティシエになりました。しかし、最近パティシエになるのは大変だと決めつけて、夢を諦める方が多いです。そこで、このようなパティシエの楽しさを、子ども達に知ってもらえるイベントは、とても良い機会でした。





井本 尚之さん

町内の建設会社の営業部で働く男性。現在は、町外に住んでおり車で会社まで通勤されています。

地域に恩返し

「町内の企業で働いてみて思うことは何でしょうか。」

井本さん 広陵町は、そこそこ都会でそこそこ田舎なイメージがあります。

弊社にも町内に住んでいる社員がいるのですが、良い所だと言っていました。先日、開催された

「広陵フェス」に会社として出店しました。

そこで、みんなが広陵町を盛りあげようとする気持ちが変わってきました。

それこそ、イベントの最後に舞台上で披露された総ダンスでは会場のみんが一体となった感覚がありました。

広陵町で働く。

全

国に多数ある自治体の中で、広陵町で働くことを決めた方々。

広陵町で働くってどういうことなのでしょう。

今回は、町外在住ですが広陵町で働いている方々取材しました。

夢にカラーを 広陵町働くサポート

① 創業塾



広陵町商工会では、将来、独立を考えている会社員、主婦、そして第二の人生を再設計している団塊の世代の方々を対象に開講。創業の基礎知識から具体的な計画の策定まで学ぶことができます。受講後は創業準備の支援、開業後の経営支援など充実したフォローアップ体制で夢をサポート。

「広陵町って どこ。」

「町内の企業で働いてみて思うことは何でしょうか。」

中島さん 私は以前、町外の支店で勤務していました。

そこで数年働いて昨年の秋ごろに広陵町で勤務することになりました。

転勤の知らせを受けた時にまず思ったのが、「広陵町ってどこ。」でした。

私自身町外で生まれ育ったので、広陵町がどのような場所なのかイメージが湧きませんでした。

以前働いていた地域と広陵町で異なる点を感じましたか。

中島さん 以前は、バスが数分おきに数本通っていて通勤は

便利でした。現在の職場は、以前と比べると通勤が少し大変になりました。

ただ、広陵町で働いてみて感じたのは、お客さまとの距離が近いということです。

以前だと、お客さまとの会話はあまりなかったように思われます。

職員 印象に残っているお客さまとのエピソードがありますか。

中島さん 一番印象に残っているエピソードは、結婚を申し込まれたことです。**職員** マンガのような出来事ですね。

中島さん 窓口に来られたお婆さんから「うちの孫と結婚して欲しい。」と突然言われました。

以前の職場では、考えられなかった経験でしたので驚きま

職員 「広陵フェス」参加の他に、地域で行っていることがありますか。

井本さん 弊社は広陵町発祥の企業であり、地域への貢献の為に年に1回広陵町ボランティアと題して数百人規模で町内の清掃活動を行っています。

私たちの仕事は、細心の注意をはらっていたとしても近隣住民の方々にご迷惑をおかけしてしまう事がありますので、日頃ご協力いただいている地域の方々への恩返しのためにも参加しています。

今後の発展に期待します

— 今後、広陵町に求めるものは何でしょうか。

井本さん 田舎ならではの、のどかさや

地域コミュニティと都会ならではの、にぎわいの良い所を生かした住みやすい町であり続けていただきたいです。

また「広陵フェス」のような民間企業と行政がタイアップしたイベントも今後、さらに増えてくれば、広陵町がより盛り上がると思います。

ただ、私は車通勤が主ですので、あまり不便は感じませんが、バスや電車が主な移動手段の方々に配慮して「広陵元気号」などの交通手段をより良くしたいだけだと思います。

職員 貴重なご意見ありがとうございます。今後とも、民間企業と行政のよりよい関係を築き上げていきたいと思います。

\ Pick up! /



▲夜間講座



▲農作業機械実習



▲秋冬野菜の栽培実習



▲夏秋なすの栽培・販売

②

農業塾



新たに農業に取り組む方を対象に、農業塾を開講。現在は、前年度までの受講生が協力し、実習農地でなすなどの栽培実習に取り組んでいます。農業を基礎から学ぶとともに、生産から販売までの一貫した実習により、農産物直売所などで販売できる農業者の育成を目指します。

した。

この出来事で地域の色を改めて感じました。

インフラを

整えて欲しい

— 今後、広陵町に求めるものは何でしょうか。

中島さん 箸尾駅やバスなどの交通手段を少し整備して欲しいです。

一本電車を逃すと次の電車までこれほど待つとは転動当初は、驚きました。

また、道が狭くて車を運転する時に少し不安です。

職員 町内だけではなく町外の方にも配慮した町づくりが必要ですね。

中島 唯莉さん

町内の銀行で働く女性。
町外の支店で働いていて、
昨年に広陵町に異動して来られました。

夢 に 年齢げんかい はない。

美人な奥さんと結婚する！

仕事で活かせる知識を身に付ける

保育園の先生になる！



子ども職業体験を終えて

「大手の企業に就職した。」
その大手とは、一体どのようなことなのでしょう。

安定していて、福利厚生が整っていると言うことでしょ
うか。

そう言う意味での大手なら、その条件を全て満たしている企業は、現状少ないと思います。

実際に、大手に就職しても3年未満に退社を考える方も大勢います。

それはなぜなのでしょう
か。

それは、その企業が「自分」にとって良いか悪いの
かは、数字だけでは分からず、
実際に働かないと分からない
からです。

そういう意味で今回の「子ども職業体験」は、子ども達
にとって、とても有意義な一
時だったと思います。

また、受け入れてくださった企業側の方も、自分たちが
普段している仕事を、未来の

きれいな言葉で
本を読みたい。
(音訳ボランティア)



好奇心を忘れない！トキメキを
見つける♡



平和な日々♡



担い手たちに少しでも知ってもらえて、ありがたかったという意見を多数お聞きしました。

もしかしたら、今回の職業体験で将来、広陵町の「あの」企業で働きたいと本気で思った子どももいたことでしょう。

今後、広陵町の「あの」企業で働きたいと具体的な目標を持っている方や、具体的な事業を起こしたいと夢の途中の方をサポートしていくことが広陵町の役目だと思えます。

冒頭にもお伝えしましたが、広陵町の人口は、35,000人で、奈良県の町村で一番人口が多い町です。

つまり、一番「夢」の数が多いい町でもあります。

「夢」や「目標」を持つことに年齢など関係はなく、また限界などありません。

皆さんの「夢」を実現する場所が、広陵町でありますように。

「広報こうりょう」閲覧方法

① 区・自治会を通じて配布

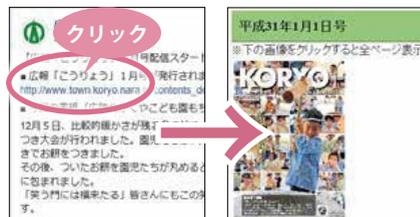
町では、広報紙「広報こうりょう」を毎月1日に発行し、区・自治会を通じて各世帯に配布しています。

※ご自宅に届く日時は、各区・自治会によってばらつきがあります。

② 町ホームページで閲覧



facebookのURLから閲覧できます



③ アプリ「マチイロ」で閲覧

スマートフォン対応無料アプリ「マチイロ」をダウンロードすることにより、住民の方は自分の気に入った市町村の広報紙を手軽に閲覧可能となるサービスです。



▲上記QRコードからダウンロード!

町をもっと好きになる

町のステキ情報をお届け

広陵町では、広報紙やホームページ、facebookなどで町の情報を発信しています。

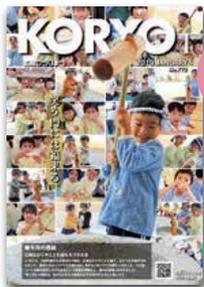


町民が主役

広報こうりょう

毎月1回発行の広陵町の広報紙。

「町民が主役」をテーマに毎月町のイベントなどの情報をお届けしています。



町の魅力がいっぱい!
(A〇A)



デジタルな情報発信

広陵町ホームページ

イベントや手続き方法など生活に役に立つ情報をお届けしています。



情報はスピード重視

広陵町 facebook

イベントや災害情報などの役に立つ情報を素早く皆さんにお届けしています。





平成 30 年 1 月号
【特集】町長、議長の新年のごあいさつ



平成 30 年 2 月号
【特集】成人式、成人式の舞台裏



平成 30 年 3 月号
【特集】広陵北幼稚園・北保育園に遊びに来ませんか？



平成 30 年 4 月号
【特集】地元の人に愛されて「やまてつ 100 周年」



平成 30 年 5 月号
【特集】平成 30 年度 4 月 1 日付け職員人事異動



平成 30 年 6 月号
【特集】広陵町男女共同参画座談会



平成 30 年 7 月号
【特集】広報紙無料配信アプリ「マチイロ」広報こうりょう配信中



平成 30 年 8 月号
【特集】大垣内立山祭開催



平成 30 年 9 月号
【特集】第 47 回町民体育祭開催



平成 30 年 10 月号
【特集】マンガで伝える広陵町の財政状況



平成 30 年 11 月号
【特集】広陵町子育て事業



平成 30 年 12 月号
【特集】生涯・挑戦者（頑張る高齢者特集）

問合せ先

広陵町役場 企画部 秘書人事課 広報担当

☎ 0745 (55) 1001 内線 1215

＼ 来年度から町の野菜自慢のコーナーが変わります！



『夢の途中。』

全 23回（平成31年2月号現在）連載してきました「地域を元気に わたしの町の野菜自慢」。

このコーナーが来年度から変わります。

広陵町で自慢できるものは、野菜だけではありません。

多くの夢や目標を持っている方がたくさんいます。

広報こうりょうでは、そんな「夢の途中」の方々を掲載し、より町を盛りあげていきたいと思えます（詳細は、広報紙でお伝えします※時期調整中）。

町をもっと
大好きに(〇〇)

広陵町役場

検索

<http://www.town.koryo.nara.jp>



この用紙は再生紙を使用しています。
環境負荷が少ない植物性インキを使用しています。



広報こうりょうを
スマホへお届け

広報こうりょうの「取材・紙面編集・写真撮影・デザイン・レイアウト・文書作成・画像加工・校正」など印刷以外の作業は、全て広報担当職員が行い、印刷・製本以外の費用を一切かけずに、低コストで広報こうりょうをお届けしています。